

令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日		令和4年10月31日		No. 3 - 1		
基 本 事 項	施策名	第1節 調和のとれた住環境づくり		所管部署名	都市整備部	
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり（生活環境部門）		評価責任者	竹内 栄一	
	施策小項目	1	良好な宅地開発の促進	関連部署名(1)	都市整備部都市計画課	
		2	地区計画制度の活用	関連部署名(2)	都市整備部吉川美南駅周辺地域整備課	
		3	魅力的な地域景観の形成	関連部署名(3)		
4		公的住宅の供給促進	関連部署名(4)			
施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> 魅力的で、安全で良好な住環境が形成されていることをめざす。 生活を営む上で必要な居住環境を提供することをめざす。 		役割分担	市民の役割	都市計画法、建築基準法、まちづくり整備基準条例、埼玉県景観条例等を理解し、遵守する。また、良好な住環境と景観の形成・保全に努める。	
施策に関する個別計画	都市計画マスタープラン(平成12年～令和3年度、令和4年(改定)～令和24年)			行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> 法令等に基づき、許可等を行う。 地域の特徴を生かした地区計画を指定する。 	

区分	指標名(上段)		単位	設定時の値	実績値①(年度)	実績値②(目標年度)	達成状況	最終目標値(目標年度)
	指標の性質(下段)							
①	まち並み(景観)を「よい」と回答した人の割合		%	65.2	73.0	75.2	A	67.0
	増加することが良いとされる指標			H28	R2	R3		R3
②	地区計画区域の指定面積		ha	509.7	581.2	581.2	A	531.3
	増加することが良いとされる指標			H27	R2	R3		R3
③								
④								

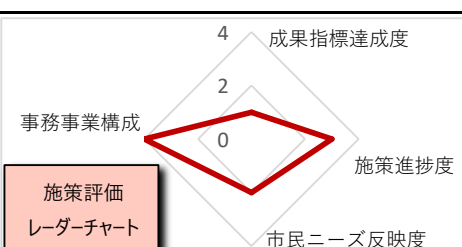
施策の評価	評価軸①	評価方法		評価点
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 8点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数	
施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 (100%以上の達成度) <input type="checkbox"/> おおむね順調 (80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない (50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない (50%未満の達成度)	評価理由・説明	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度市民意識調査では、吉川市の住み心地を「よい」と感じた理由について、「街並み(景観)」としている方が3番目に多く、土地区画整理事業により計画的に街並みを整備してきた結果と評価できる。 地区計画に関しては、吉川美南駅東口周辺地区の指定が進み、目標を上回ることができた。 	4点
市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		<ul style="list-style-type: none"> 地区計画の指定にあたっては、説明会を複数回開催するとともに案の縦覧も行い、土地所有者や地区住民の合意形成に努めた。 	3点
施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		<ul style="list-style-type: none"> 事務事業の構成としては、施策の目的を達成するのに十分な内容となっている。 	4点
施策に関する現状と課題			※構成する事務事業については裏面を参照	
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> 本市の市街化区域の約77.6% (581.2ha/749ha) において、地区計画を指定できている。 より多くの市民に、まちづくりに関する制度等について知ってもらい、理解を深めてもらうことが必要である。 		4 成果指標達成度 2 0 事務事業構成 施策評価レーダーチャート 施策進捗度 市民ニーズ反映度	4点
				評価軸①~④の評価点の平均点

令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日		令和4年10月31日		No. 3 - 2		
基本事項	施策名	第2節 みどり豊かなまちづくり		所管部署名	都市整備部	
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり（生活環境部門）		評価責任者	竹内 栄一	
	施策小項目	1	公園の適正な維持管理		関連部署名(1)	都市整備部道路公園課
		2	身近な公園の整備と公共空間の確保		関連部署名(2)	
		3	緑化の推進とみどりの保全		関連部署名(3)	
4		水辺空間の整備		関連部署名(4)		
施策の目的	水と緑に囲まれた豊かな生活環境の実現をめざす。			役割分担	市民の役割 ・地域に愛される公園・緑道づくりをめざし、整備計画への参画に努める。 ・街区公園などを地元自治会で維持管理することに努める。	
施策に関する個別計画	吉川市緑の基本計画（平成10年度～令和2年度）					行政の役割 ・地域に愛される公園・緑道づくりを行う。 ・緑化奉仕団体を支援することにより、市民の緑化意識の向上を図る。

区分	指標名（上段）	単位	設定時の値	実績値① （年度）	実績値② （目標年度）	達成状況	最終目標値 （目標年度）
	指標の性質（下段）						
指	① 公園の整備を「よい」と回答した割合	%	65.4	63.3	65.8	D	70.0
	増加することが良いとされる指標		H28	R2	R3		R3
標							

施策の評価	評価軸①	評価方法		評価点	
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 1点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数		1点
の	評価軸② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（100%以上の達成度） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（50～80%程度の達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（50%未満の達成度）	評価の理由・説明	・公園の整備については、主に公園再生プロジェクトにおいて、老朽化した遊具や施設の見直しによる再整備を進めている。財源の確保や公園利用を中止せずに整備を進めたことから、計画よりも期間を要しているが、効率的に整備を進めている。また、三輪野江地区において、環境教育や憩いの場として整備するために、土地所有者から土地を賃借し下草刈りなどを実施している。	3点
	評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		・公園施設における補修や管理に関する除草等の要望が多く、全ての要望に対応できていないが、速やかに状況を確認し、支障のあるものから順次改善等を図っている。	2点
	評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		・みどり豊かなまちづくりには、公園の整備や維持管理、緑化の推進が必要であり、設定した事務事業は妥当なものである。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
	評価	施策に関する現状と課題		・都市公園の多くは土地区画整理事業において整備し、整備後20年以上経過した施設が多く経年劣化が進んでいることから、維持管理における財源の確保が課題となっている。 ・公園等の管理協定団体において、除草や清掃などを実施しているが、高齢化などによる継続の懸念や、各団体の状況を踏まえて対応できる仕組みの見直しが求められている。	総合評価 3点 評価軸①～④の評価点の平均点



令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日		令和4年10月31日		No. 3 - 3		
基 本 事 項	施策名	第3節 美しい水環境の創出		所管部署名	都市整備部	
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり（生活環境部門）		評価責任者	竹内 栄一	
	施策小項目	1 汚水処理施設の整備	5 農業集落排水の運営	関連部署名(1)	都市整備部河川下水道課	
		2 合併処理浄化槽の普及	6 水環境保全の推進	関連部署名(2)	市民生活部環境課	
		3 汚水処理施設管理の充実		関連部署名(3)	産業振興部農政課	
4 浄化槽の管理			関連部署名(4)			
施策の目的	河川や排水路などの水質が改善され、清潔で快適な水環境をめざす。			役割分担	市民の役割 ・下水道供用区域においては、早期に公共下水道への接続に努める。 ・浄化槽整備区域では、合併浄化槽への転換と適切な維持管理に努める。	
施策に関する個別計画	吉川市生活排水処理基本計画（平成22年度～令和7年度）					行政の役割 下水道接続及び合併浄化槽転換について啓発活動及び補助により促進する。 下水道施設の適正な維持管理と主要な施設の耐震化を図る。
	中川流域関連吉川公共下水道事業計画（昭和53年度～令和2年度）					
	吉川市下水道事業経営戦略(令和3年度～令和12年度)					

区分	指標名(上段)	単位	設定時の値	実績値①(年度)	実績値②(目標年度)	達成状況	最終目標値(目標年度)
	指標の性質(下段)						
①	公共下水道水洗化率	%	95.3	96.5	96.9	A	96.3
	増加することが良いとされる指標		H27	R2	R3		R3
②	浄化槽法第11条検査受検率	%	11	16.6	16.4	D	23
	増加することが良いとされる指標		H27	R2	R3		R3
標							

施策の 評価	評価軸①	評価方法		評価点
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 5点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数	
施策の 進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（100%以上の達成度） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（50~80%程度の達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（50%未満の達成度）	評価理由・説明	「公共下水道水洗化率」については、近年、下水道区域内における住宅建設が増加していること及び浄化槽からの公共下水道への転換件数も増えていることから、目標値よりも上回る伸びとなっている。	3点
市民ニーズ の反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		「浄化槽法第11条検査受検率」については新型コロナウイルス感染症のまん延により、出前講座等での受検勧奨が実施できず、目標値を達成することができなかった。	4点
施策に対する 事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		「公共下水道水洗化率」の向上により、生活排水が適切に処理され、水質の保全につながるため、市民ニーズは反映できた。 「浄化槽法第11条検査受検率」の向上により、浄化槽の適正な管理が担保され、水質の保全につながるため、市民ニーズは反映できた。	4点
施策に関する現状と課題			河川や排水路の水質向上のためには、公共下水道や合併処理浄化槽への転換は不可欠であり、その維持管理についても重要な要素と考えられるので、構成される事務事業は適正であると考え。 ※構成する事務事業については裏面を参照	
1 吉川美南駅東口土地区画整理事業における汚水管布設工事は当初計画よりもやや遅れている。 2 市内全浄化槽のうち、単独処理浄化槽が50.8%を占めており、更なる水質改善の余地がある。 3 下水道管渠の点検や清掃を実施しているものの、閉塞状況を未然に防ぐことはできていない。 4 浄化槽法第11条に基づく法定検査率は、新型コロナウイルス感染症も影響し16.4%と低調であった。 5 農業集落排水事業において、近年、処理区域内における新規接続者が減少している。 6 新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティアによる木売落しの清掃イベントを実施できていない。		<p>成果指標達成度: 4 事務事業構成: 2 市民ニーズ反映度: 0 施策進捗度: 2</p>		総合評価 4点
		施策評価レーダーチャート		評価軸①～④の評価点の平均点

令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

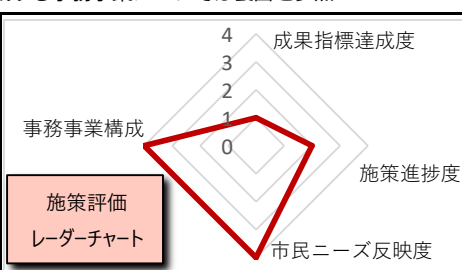
評価日 令和4年10月31日

No. 3 - 4

基 本 事 項	施策名	第4節 環境にやさしいまちづくり		所管部署名	市民生活部	
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり（生活環境部門）		評価責任者	荒川 泰弘	
	施策小項目	1 地球環境の保全	5 循環型社会の構築	関連部署名(1)	市民生活部環境課	
		2 地域環境の保全	6 廃棄物の適正な処理	関連部署名(2)	都市整備部都市計画課	
		3 公害の未然防止対策		関連部署名(3)		
4 自然環境の保全			関連部署名(4)			
施策の目的	市民・事業者・行政が一体となって地球規模の環境問題に積極的に取り組む社会をめざすとともに、身近な地域環境を保全し、美しく快適で自然豊かな生活環境をめざす。また廃棄物が適正に処理される持続可能な循環型社会の構築をめざす。				役割 分 担	市民 の 役 割 行政 の 役 割
施策に関する個別計画	吉川市環境保全指針（平成12年度～令和2年度、令和3年度～令和8年度）					
	吉川市環境配慮率先実行計画（第4次：平成28年度～令和2年度、第5次：令和3年度～令和7年度）					
	第3次一般廃棄物処理基本計画（平成25年度～令和4年度）					
地球規模の環境問題から地域の環境問題まで幅広く環境問題に対する関心を高め、地球や地域にやさしい行動の実践に努める。						
環境の保全と持続性のある社会実現に関する目標設定を行い、市民、事業者に対する環境配慮意識情勢を図る。 —事業者としても環境配慮の率先実行を行う。						

区分	指標名（上段）		単位	設定時の値	実績値① （年度）	実績値② （目標年度）	達成状況	最終目標値 （目標年度）
	指標の性質（下段）							
①	1人1日当たりのごみ排出量		g	794.0	822.97	846.25	D	750.0
	減少することが良いとされる指標			H27	R2	R3		R3
②	吉川市環境配慮率先実行計画（エコオフィス吉川）		t-CO2	4,800	4,999	集計中	D	4,560
	減少することが良いとされる指標			H26	R2	R3		R3

評価軸	評価方法		評価点
	指標達成状況	合計点は 2点	
① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数	1点
② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（100%以上の達成度） <input type="checkbox"/> おおむね順調（80%以上の達成度） <input checked="" type="checkbox"/> やや順調でない（50~80%程度の達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（50%未満の達成度）	評価理由・説明 「1人1日当たりのごみ排出量」については、事業系ごみの増加が続いたため、最終目標値の達成が困難となった。 また、「温室効果ガス総排出量」については、庁舎の建て替え等によりエネルギー使用量が増加したため、最終目標値達成は困難な状況である。 ごみの減量や適正処理、エコオフィス吉川の取り組みを通じて環境にやさしいまちづくりが推進されるため、市民ニーズを反映できている。 吉川市環境保全指針の5つの行動方針に基づく事務事業で構成されており、事務事業の構成は妥当である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	2点
③ 市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		4点
④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		4点
総合評価	施策に関する現状と課題 「1人1日当たりのごみ排出量」については、事業系ごみの増加傾向が続いていることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響等により近年は家庭系ごみも増加している。 また、「温室効果ガス総排出量」については、庁舎の建て替えや小中学校への空調設備の導入、吉川中学校の開校に伴い、エネルギーの総使用量が増加している。		3点 評価軸①～④の評価点の平均点



貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)	
			成果指標名	単位	R3目標値	R3実績値		
構 成	1	503205	ごみ減量啓発事業	1 家庭系ごみ1人1日当たりの排出量	g	649.0	624.0	現状のまま継続
	2	503102	環境保全推進事業	1 環境に配慮した生活を実践している人の割合	%	100.0	79.2	現状のまま継続
	3	503104	再生可能エネルギー推進事業	1 住宅用太陽光発電設備補助金交付決定件数	件	24	30	拡大
	4	503207	資源回収奨励補助事業	1 資源回収量	kg	1,065,000	1,067,925	現状のまま継続
	5	503201	一般廃棄物広域処理事業	1 燃やすごみの年間排出量	t	13,483	13,079	現状のまま継続
	6	503210	可燃ごみ収集運搬事業	1 家庭系燃やすごみ収集量(可燃性残渣抜き)	t	13,883	13,079	現状のまま継続
	7	503109	公害対策事業	1 典型7公害改善率	%	80.0	100.0	現状のまま継続
	8	503110	測定分析事業	1 環境基準等達成率	%	100.0	99.0	現状のまま継続
	9	503101	生活環境向上事業	1 側溝清掃実施回数	回	15	4	現状のまま継続
	10	503106	空閑地除草指導事業	1 空閑地等改善件数	件	48	30	現状のまま継続
す る	11	503206	地域美化運動支援事業	1 地域美化運動実施回数	回	95	48	現状のまま継続
	12	503113	環境保全協定事業	1 環境保全協定 新規締結・更新事業者数	事業者	1	0	手段を改善
	13	503202	廃棄物減量等推進事業	1 廃棄物減量等推進員設置率	%	88.0	84.8	現状のまま継続
	14	503204	ごみ資源化推進事業	1 資源ごみ(紙・衣類)売却代	円	5,903,000	8,268,656	現状のまま継続
	15	503208	生ごみ処理機購入補助事業	1 補助金交付決定累積件数	台	591	590	現状のまま継続
	16	503203	ごみ集積所設置・管理指導事業	1 ごみ集積所の変更・廃止件数	件	85	89	現状のまま継続
	17	503209	パートナー収集事業	1 パートナー収集実施決定件数	件	7	12	現状のまま継続
	18	503211	不法投棄対策事業	1 不法投棄ごみ撤去量	t	7.0	6.5	現状のまま継続
	19	503212	動物死体収集処理事業	1 動物死体処理手数料	円	896,000	798,000	現状のまま継続
	20	503213	し尿処理推進事業	1 し尿処理量	kℓ	620	621	現状のまま継続
務 事	21	503301	環境センター管理運営事業	1 破砕機不稼働日数	日	0	0	現状のまま継続
	22	503302	一般廃棄物最終処分場維持管理事業	1 埋立て容量	m ³	291	289	現状のまま継続
	23	503303	不燃ごみ収集・処理事業	1 かん、びんの収集取り残し発生件数	件	2	0	現状のまま継続
	24	503304	粗大ごみ収集・処理事業	1 粗大ごみ収集量	kg	900,000	794,910	現状のまま継続
	25	503305	不燃ごみ資源化事業	1 資源化率	%	50	48	現状のまま継続
	26	503306	有害・処理困難物処理事業	1 有害物、処理困難物処理量	kg	53,000	57,460	現状のまま継続
	27	701202	建設リサイクル法に関する事務	1 工事箇所確認件数	箇所	30	6	現状のまま継続
業								

特記事項

今後の展開

- ・ごみ排出量の減量に向けて、引き続き啓発を実施し、分別の徹底や資源化に関する取り組みを推進する。
- ・市が事業所として排出する温室効果ガス総排出量の削減に向けて、環境負荷の低減と経済性の両立を図りながら、再生可能エネルギー由来の電力調達など、できる限り排出係数の小さい小売電気事業者からの電力調達を進める。
- ・吉川市環境保全指針に基づく「環境行動計画」の進捗を管理し、各施策の推進を図る。

令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日		令和4年10月31日			No. 3 - 5		
基 本 事 項	施策名	第5節 災害に強いまちづくり			所管部署名	市民生活部	
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり（生活環境部門）			評価責任者	荒川 泰弘	
	施策小項目	1	危機管理体制の充実	5	旧耐震基準で建てられた建築物の耐震化の支援	関連部署名(1)	市民生活部危機管理課
		2	水防体制の充実			関連部署名(2)	都市整備部都市計画課
		3	防災施設の充実			関連部署名(3)	
4		防災・減災に対する市民の意識の高揚			関連部署名(4)		
施策の目的	・災害が発生した時、市民の生命や財産を守れるまちをめざす。				役割 市民の役割	・自らの生命は自ら守るという意識を持ち、日ごろから、災害に対する備えを進めるために防災マップなどの活用にも努める。 ・平常時より地域でお互いに助け合うことに努める。 ・自主防災組織は、災害時に地域の核となるよう実践的な防災訓練の実施に努める。	
施策に関する個別計画	吉川市地域防災計画（最終改訂令和4年3月） 国民の保護に関する吉川市計画（最終改訂令和2年2月） 吉川市建築物耐震改修促進計画（平成21年3月策定、令和3年3月改訂）					役割 行政の役割	関係機関との連携強化や自治体間、事業者との応援協定体制を構築する。 防災施設、備蓄物資や資機材の整備に努める。 市民の防災意識の普及に努める。

区分	指標名（上段）		単位	設定時の値	実績値① （年度）	実績値② （目標年度）	達成状況	最終目標値 （目標年度）
	指標の性質（下段）							
①	自主防災組織率		%	82.74	89.00	89.00	C	94.00
	増加することが良いとされる指標			H27	R2	R3		R3
②	自主防災会の訓練参加率		%	5.51	1.50	2.50	D	10.00
	増加することが良いとされる指標			H27	R2	R3		R3
③								
④								

評価軸	評価方法		評価点
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	
施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（100%以上の達成度） <input type="checkbox"/> おおむね順調（80%以上の達成度） <input checked="" type="checkbox"/> やや順調でない（50~80%程度の達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（50%未満の達成度）	評価理由 出前講座や講習会などの機会を捉えて、自主防災組織の必要性について周知しているが、新型コロナウイルス感染症の影響で、周知する機会が減っている。結果として、自主防災組織率及び自主防災会の訓練参加率の目標を達成できなかった。	2点
市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	市民の防災意識の高揚のため、減災マップの作成やまちごとまるごとハザードマップの設置などを実施した。地域での出前講座や講習会など様々な機会を捉えて、自主防災組織の設立や訓練の実施について周知していく。	3点
施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	説明 防災組織支援育成事業や減災対策事業など、平時からの取組を行うことは、災害が発生した時に市民の生命や財産を守るという施策の目的を達成するのに妥当な事務事業であると判断する。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点

評価	施策に関する現状と課題		総合評価
	自主防災組織は地域によって設立の有無に偏りがあるため、地域差の解消を図ることが必要であるほか、自主防災組織が設立されている地域においても自主防災組織が実施する訓練への参加者が集まりにくいといった課題がある。課題解決のため、出前講座や講習会、講演会などあらゆる機会を捉えて、自助、共助の必要性を周知していくとともに、自主防災組織の組織率の向上、防災訓練参加者の増加を図っていく。		3点
			評価軸 ①～④の 評価点の 平均点

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)	
			成果指標名	単位	R3目標値	R3実績値		
構 成	1	502106	防災組織支援育成事業	1 自主防災組織率	%	94.0	89.0	現状のまま継続
	2	502105	防災無線整備事業	2 吉川市メール配信サービスの登録者数	件	3,500	3,066	現状のまま継続
	3	502104	減災対策事業	1 避難所開設運営マニュアルの策定数	数	3	3	現状のまま継続
	4	502107	水防体制充実事業	1 訓練による習熟度	%	80.0	100.0	現状のまま継続
	5	502108	国民保護等危機対策事業	2 J-ALERTの動作異常回数	回	0	0	現状のまま継続
	6	701206	既存建築物耐震改修促進事業	1 耐震改修補助金交付件数	件	3	0	現状のまま継続
す る 事 務 事 業								

特記事項
令和3年11月14日に第6回吉川市減災プロジェクトin旭小学校区（旭地区センター含む）を開催し、旭地区の各自主防災組織が避難所開設運営訓練を行った。

今後の展開
地域の出前講座や講習会など、あらゆる機会を捉えて、自主防災会の必要性や役割を周知し、新たな自主防災会の設立を積極的に働きかけていく。また、自助、共助の必要性を周知することで、防災意識の向上を図っていく。

令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日 令和4年10月31日

No. 3 - 6

基 本 事 項	施策名	第6節 総合的な治水対策の推進	所管部署名	都市整備部		
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり（生活環境部門）	評価責任者	竹内 栄一		
	施策小項目	1 河川の整備		関連部署名(1)	都市整備部河川下水道課	
		2 雨水処理施設の整備		関連部署名(2)	市民生活部危機管理課	
		3 雨水処理施設管理の充実		関連部署名(3)		
			関連部署名(4)			
施策の目的	大雨による河川の氾濫や浸水被害が発生しないまちをめざす。		役割分担	市民の役割	宅地内へ水害の軽減に役立つ貯留施設や雨水浸透柵の設置と適切な維持管理に努める。	
施策に関する個別計画	吉川市総合治水計画（平成13年度～）					行政の役割

区分	指標名（上段）	単位	設定時の値	実績値① （年度）	実績値② （目標年度）	達成状況	最終目標値 （目標年度）
	指標の性質（下段）						
指	① 浸水被害の軽減に対する市民満足度	%	56.4	51.0	52.4	D	70.0
	増加することが良いとされる指標		H27	R2	R3		R3
標							

施策の 評価	評価軸①	評価方法		評価点
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 1点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数	
施策の 進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（100%以上の達成度） <input type="checkbox"/> おおむね順調（80%以上の達成度） <input checked="" type="checkbox"/> やや順調でない（50~80%程度の達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（50%未満の達成度）	評価の理由・説明	雨水ポンプ場の増強を検討する上で、その効果を検証するための浸水シミュレーションを業務委託として発注したが、年度内で効果の検証ができず、繰越となってしまった。	2点
市民ニーズの 反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		長時間に渡り浸水することは少なくなったが、過去から浸水が多発する地域においては効果があったとは捉えられず、満足度を上げることができなかった。	2点
施策に対する 事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		大雨による浸水被害の軽減を図ることは安全、安心なまちづくりの理念に合致しており、その実現のために治水対策の検討や河川整備を推進していくことは妥当である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
施策に関する現状と課題				総合評価
木売落しを調整池として整備する計画が白紙となってしまう、雨水ポンプ場の増強を改めて検討することになったため、技術的課題の抽出と課題の整理に時間を要している。				2点
				評価軸①~④の評価点の平均点

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)	
			成果指標名	単位	R3目標値	R3実績値		
構 成	1	704203	一級河川改修促進事業	1 改修事業が促進される一級河川の数	本	3	3	現状のまま継続
	2	704205	河川整備事業	1 上第二大場川改修延長(単年度)	km	0.20	0.10	現状のまま継続
	3	704202	雨水排除施設建設改良事業	1 ポンプ運転故障件数	件	0	0	拡大
	4	704201	雨水排除事業	1 ポンプ運転故障件数	件	0	0	拡大
	5	704207	ポンプ施設管理事業	1 ポンプ運転故障件数	件	0	0	拡大
	6	704206	排水施設管理事業	1 修繕を実施した箇所数	回	1	0	現状のまま継続
す る 事 務 事 業								

特記事項
 効果的な治水対策の実現には至らなかったが、総合治水の推進には、中長期的な計画と莫大な事業費の財源確保が必要である。

今後の展開
 吉川駅北口から県道川藤野田線までの第1排水区について、浸水対策の検討を進めているが、放流量協議、共保雨水ポンプ場増強の手法、高圧受電協議、事業計画や事業認可の変更等、整理する課題が山積しており、また、財源の確保も課題である。

令和4年度 施策評価シート 《令和2年度・令和3年度評価》

評価日	令和4年10月31日	No.	3 - 7
-----	------------	-----	-------

基 本 事 項	施策名	第7節 暮らしを支える上水道の充実	所管部署名	水道課
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり (生活環境部門)	評価責任者	秋谷 裕司
	施策小項目	1 水道施設の整備	関連部署名(1)	水道課
		2 水の安定供給	関連部署名(2)	
		3 水質管理の充実	関連部署名(3)	
		関連部署名(4)		
施策の目的	安心・安全・おいしい水の安定した供給をめざす。	役割 分担 の 行 政 の 割 割	市民 の 割 割 行 政 の 割 割	水道事業に関する施策への協力に努めるとともに、自己の給水装置の維持管理や合理的な水の使用に努める。 安全で安心な水道水を安定的に市民に供給するため、浄水・配水の施設や設備の維持更新に努めるとともに定期的に水質検査を行い、積極的な情報提供に努める。
施策に関する個別計画	吉川市水道事業経営健全化計画 (平成21年度～令和5年度)			
	吉川市水道ビジョン(経営戦略)(令和2度～令和11年度)			
	水道施設更新計画			
	吉川市水道事業水安全計画			

区分	指 標 名 (上 段)		単 位	設定時の値	実績値① (年度)	実績値② (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指 標 の 性 質 (下 段)							
①	安全な水の安定供給に対する満足度		%	84.5	85.9	87.8	C	90.0
	増加することが良いとされる指標			H28	R2	R3		R3
②	石綿管布設替の進捗率		%	74.3	77.3	78.8	C	82.6
	増加することが良いとされる指標			H27	R2	R3		R3
③								
④								

評価軸	評価方法		評価点
	① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 4点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調 (100%以上の達成度) <input type="checkbox"/> おおむね順調 (80%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> やや順調でない (50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない (50%未満の達成度)	評価理由・説明 「安全な水の安定供給に対する満足度」は、いつでも安心して水道水が利用できる環境が整備されている指数であり、満足度は令和2年度に比べ1.9ポイント上昇しているが、味やにおいが気になり水質に不安を感じている人がおり目標に至っていない。「石綿管布設替の推進」は、算出方法の修正により目標達成に至らなかったが、今後も事業の推進を図る。	2点
③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	市民意識調査において、安全な水の安定供給に対する認識の把握について調査を行っている。結果については、持続的な水道事業の運営に役立てるとともに、庁内各部署に対し、各取り組みの今後の参考となるように集計データを提供している。	3点
④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	本施策では、主要な取り組みについてのニーズや現状を整理し、国が策定した新水道ビジョンにおける、水道理想像の強靱・持続・安全の観点から整理をし、持続可能で強靱な信頼される水道に取組む事務事業を設定しているため妥当である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点

施策に関する現状と課題 ・「安全な水の安定供給に対する取り組み」については、味やにおいが気になり水質に不安を感じている方がいるため、水安全計画に基づき、水質基準を満たす安全性の確保や危害リスクを抽出・特定して、それを適切に監視・制御することにより、安心して飲める安全な水の供給を行う。 ・石綿管布設替工事は、老朽化した施設更新や災害への取り組みが重要となる。水を取り巻く環境は、節水機器の普及やライフスタイルの変化に伴い使用水量が減少して財政悪化が危惧される。	総合評価 <h2>3点</h2> 評価軸 ①～④の 評価点の 平均点

令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日		令和4年10月31日		No. 3 - 8		
基 本 事 項	施策名	第8節 安全で明るいまちづくり		所管部署名	市民生活部	
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり（生活環境部門）		評価責任者	荒川 泰弘	
	施策小項目	1	防犯体制の充実		関連部署名(1)	市民生活部危機管理課
					関連部署名(2)	
					関連部署名(3)	
				関連部署名(4)		
施策の目的	・だれもが安心して暮らせる犯罪のない社会をめざす。		役割分担	市民の役割	・生活上のルールを守り、住民同士の連携を高めることに努める。 ・地域の防犯活動への協力に努める。	
施策に関する個別計画	第3次吉川市防犯推進計画（平成30年度～令和4年度）				行政の役割	・広報やキャンペーン活動を通じて市民の防犯意識を高める。 ・防犯関係団体が行う防犯活動への支援を行う。 ・防犯関係施設の整備を行う。

区分	指標名（上段）	単位	設定時の値	実績値① （年度）	実績値② （目標年度）	達成状況	最終目標値 （目標年度）
	指標の性質（下段）						
①	人口千人当たりの犯罪発生件数	件	11.09	7.34	6.55	A	9.43
	減少することが良いとされる指標		H27	R1	R2		R2

評価軸	評価方法		評価点
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 4点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調（100%以上の達成度） <input type="checkbox"/> おおむね順調（80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（50~80%程度の達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（50%未満の達成度）	防犯に対する市民意識の向上などにより犯罪発生率は年々減少している。 ただし、特殊詐欺については、増加傾向にある。	4点
市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	防犯灯の新設や修繕について、おおむね要望どおり対応できている。 なお、地域(土地所有者)の協力が得られない場合や耕作障害が見込まれる場所等について設置できない場合もある。	3点
施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	地域の要望や犯罪発生状況などにより市が安全を確保するために防犯灯を新設及び修繕を行うことは妥当である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
評価	施策に関する現状と課題		総合評価
	目標指標「人口千人当たりの犯罪発生件数」については、わがまち防犯隊連絡協議会の組織化、青色回転灯パトロールカーの導入や保第2公園防犯活動ステーション開設など、防犯に係る環境整備と地域における活動を促進した結果、目標値9.43件に対し実績値6.55件と達成できた。今後においても、この状況を維持しつつ、特殊詐欺などへの対策について関係機関と連携、協力し継続していく必要がある。		
		事務事業構成 成 施策評価 レーダーチャート	評価軸 ①～④の 評価点の 平均点

	貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
				成果指標名	単位	R3目標値	R3実績値	
構	1	502201	防犯事業	1 刑法犯認知件数	件	500	385	現状のまま継続
	2	502202	防犯灯整備事業	1 刑法犯認知件数	件	500	385	現状のまま継続
成								
す								
る								
事								
務								
事								
業								

特記事項

- ・防犯事業については、わがまち防犯隊連絡協議会の組織化や青色回転灯パトロールカーの導入、防犯活動ステーションの開設など、防犯活動の環境整備を進め、地域における防犯活動が活発化しているが、今後も現状維持、さらなる活動の拡大ができるように取り組みを進める。また、さらに犯罪を減少させるためには、個人個人の防犯意識を高めるとともに、多くの方に防犯活動への参加を促す取り組みのほか、複雑化・多様化する特殊詐欺などへの対策について関係機関と連携・協力を進める必要がある。
- ・防犯灯整備事業については、吉川中学校の開校に合わせ、学校周辺に防犯灯を整備した。

今後の展開

- ・保第2公園防犯活動ステーション、わがまち防犯隊連絡協議会などによる防犯活動の継続・拡大に向けた協力・支援に努めるほか、警察などの関係機関との連携を強化する。
- ・防犯灯などの照明器具及び防犯カメラの計画的な設置と維持管理に努める。

令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日		令和4年10月31日		No. 3 - 9		
基 本 事 項	施策名	第9節	交通事故のないまちづくり	所管部署名	市民生活部	
	まちづくり目標	第3章	うるおい・安心・快適なまちづくり（生活環境部門）	評価責任者	荒川 泰弘	
	施策小項目	1	道路交通環境の整備		関連部署名(1)	市民生活部危機管理課
		2	交通安全意識の高揚		関連部署名(2)	都市整備部道路公園課
					関連部署名(3)	
				関連部署名(4)		
施策の目的	・交通事故のない安全なまちをめざす。			役割分担	市民の役割 ・駐車違反や路上への自転車放置は行わず、交通環境の維持、向上に努める。 ・交通ルールを守り、交通安全意識を持ち続けることに努める。	
施策に関する個別計画	第10次吉川市交通安全計画（平成28年度～令和3年度）					行政の役割 交通安全施設の整備を行う。 市民の交通安全意識の醸成を図る。

区分	指標名（上段）	単位	設定時の値	実績値① （年度）	実績値② （目標年度）	達成状況	最終目標値 （目標年度）
	指標の性質（下段）						
①	交通事故年間死傷者数	人	299	229	187	A	269
	減少することが良いとされる指標		H27	R1	R2		R2
②	人口千人当たりの交通事故発生件数	件	4.21	3.14	2.56	A	3.79
	減少することが良いとされる指標		H27	R1	R2		R2

評価軸	評価方法		評価点
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 8点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調（100%以上の達成度） <input type="checkbox"/> おおむね順調（80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（50~80%程度の達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（50%未満の達成度）	評価の理由・説明 市内の人口が増えているにもかかわらず事故の発生件数が減少し、目標を達成した。 横断歩道の設置等、所轄の警察署に要望しているが、様々な要因から未設置のものもあるため、今後も継続して要望していく。 交通事故を減らすためには、警察や交通関係団体と連携して、啓発を行うなど、交通安全対策を行う必要があるため事業の構成は妥当である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		3点
施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		4点

施策に関する現状と課題		総合評価
目標指標である「交通事故年間死傷者数」、「人口千人当たりの交通事故発生件数」については、道路交通法違反に対する厳罰化や取り締まりの強化、また交通安全関係団体によるキャンペーン、交通安全教育などの様々な活動により、年間死傷者は目標値269人に対して実績値187人、人口千人当たりの事故発生件数は目標値3.79件に対して実績値2.56件といずれも達成することができた。 事故の発生件数は、減少傾向にあるものの自転車、高齢者が関わる事故の割合が高くなっていることから対策を継続していくことが必要と考える。		4点
	施策評価レーダーチャート	評価軸①~④の評価点の平均点

令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日		令和4年10月31日		No. 3 - 10		
基 本 事 項	施策名	第10節	安心して暮らせる消防・救急体制の強化	所管部署名	市民生活部	
	まちづくり目標	第3章	うるおい・安心・快適なまちづくり（生活環境部門）	評価責任者	荒川 泰弘	
	施策小項目	1	消防体制の充実		関連部署名(1)	市民生活部危機管理課
		2	火災予防対策の推進		関連部署名(2)	
		3	救急・救助体制の充実		関連部署名(3)	
				関連部署名(4)		
施策の目的	・失火による火災の発生や放火を防ぐまちづくりをめざす。 ・消防施設の整備や消防職員の技術向上、消防装備の充実をめざす。 ・救急車による医療機関への収容時間の短縮や救急率の向上をめざす。			役割分担	市民の役割	・火災予防知識を高め、失火等による火災の防止に努める。 ・救命措置や応急手当の習得に努める。
施策に関する個別計画					行政の役割	消防・救急業務に必要な設備、装備の整備や隊員を養成し、消防・救急体制の充実に努める。 防火や応急手当などの知識や技能を普及させる。

区分	指標名 (上段)		単位	設定時の値	実績値① (年度)	実績値② (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)							
①	消防力の整備指針に対する充足率（人員）		%	88.2	100.0	100.0	A	94.1
	増加することが良いとされる指標			H27	R2	R3		R3
②	消防力の整備指針に対する充足率（車両・署）		%	94.4	100.0	100.0	A	100.0
	増加することが良いとされる指標			H27	R2	R3		R3
③	住宅用火災警報器の設置率		%	73.4	77.1	80.0	C	83.0
	増加することが良いとされる指標			H27	R2	R3		R3
④	普通救命講習受講率		%	12.2	0.7	0.3	D	20.0
	増加することが良いとされる指標			H27	R2	R3		R3

評価軸	評価方法		評価点
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	
施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（100%以上の達成度） <input type="checkbox"/> おおむね順調（80%以上の達成度） <input checked="" type="checkbox"/> やや順調でない（50~80%程度の達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（50%未満の達成度）	評価理由 ・消防力の整備指針に対する充足率（人員・車両・署）は目標を達成できた。 ・「住宅用火災警報器の設置率」については、全国統一で調査する自治会をランダムに抽出し住宅用火災警報器の設置率を調査することとなっている。今回調査した自治会の住宅用火災警報器設置率は目標値を下回った。	2点
市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	理由 ・住宅用火災警報器の設置については引き続き周知、啓発を行っていく。 ・普通救命講習については年間、定期的に講習を実施し、参加者が1名であっても講習会を行っている。	3点
施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	説明 ・消防、救急事務は公益性の高い必要な事務であり、その事務を行うため、消防施設を整備する必要があることから、施策の目的を達成するのに妥当な事務事業であると判断する。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点

評価	施策に関する現状と課題	総合評価 3点 評価軸 ①~④の 評価点の 平均点
	・「住宅用火災警報器の設置率」については、さらなる啓発のほか、関係団体がやっている住宅用火災警報器設置に対する助成等を周知するなど、設置率の向上を図っていく必要がある。 ・「普通救命講習」については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により講習会を開催することができず目標を達成できなかった。今後は、多様化する需要を鑑み、開催方法や時間帯など検討を進めるとともに、募集方法を含め普及啓発についても検討していく必要がある。	

施策評価 レーダーチャート

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
			成果指標名	単位	R3目標値	R3実績値	
構	1	吉川松伏消防組合負担事業	1 火災による死者数	人	0	0	現状のまま継続
	2	消防団運営負担事業	1 公務災害の人数	人	0	0	現状のまま継続
	3	消防施設等維持管理事業	1 火災による死者数	人	0	0	現状のまま継続
成							
す							
る							
事							
務							
事							
業							

特記事項

- ・令和2年度に吉川市消防団車両更新計画に基づき、吉川市消防団第5分団車両を更新配備した。
- ・令和2年度に吉川消防署に新型コロナウイルス感染予防の観点から既存の風呂場を改修し、個室のシャワー室を設置した。
- ・令和3年度に吉川市消防団車両更新計画に基づき、吉川市消防団第1分団車両を更新配備した。
- ・令和3年度に吉川市消防団機械器具置場更新計画に基づき、吉川市消防団第5分団機械器具置場を更新整備した。

今後の展開

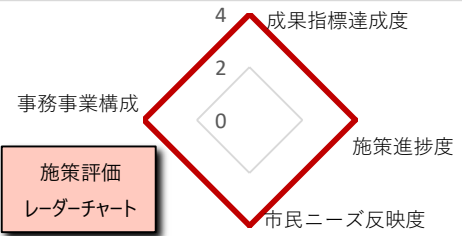
- ・消防体制の充実強化に向けて、引き続き、必要車両や施設・設備、資機材等の計画的な整備と維持管理に努めるとともに、消防職員の知識・技術の向上のほか、消防団と常備消防との連携強化を図る。
- ・火災予防対策の推進として、放火されない環境づくりを推進するとともに地域と連携した継続的な防火対策に取り組むほか、防火対象物と危険物施設についても、積極的な査察、指導を実施し消防法令違反等に対する是正率の向上に努める。
- ・救急・救助体制の充実に向けて、救急車の適正利用や予防救急について市民への啓発を積極的に推進するとともに、救急隊員の資質の向上を図るため救急有資格者及び救急救命士の計画的な養成と処置範囲の拡大に対応する研修の実施など、更なる充実を図る。

令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日		令和4年10月31日		No. 3 - 11		
基 本 事 項	施策名	第11節	消費者保護の推進	所管部署名	産業振興部	
	まちづくり目標	第3章	うるおい・安心・快適なまちづくり（生活環境部門）	評価責任者	小林 千重	
	施策小項目	1	消費者保護の充実		関連部署名(1)	産業振興部商工課
		2	消費者団体の育成		関連部署名(2)	
					関連部署名(3)	
				関連部署名(4)		
施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> 消費者が不当に不利益を被らない社会をめざす。 消費者団体の活動が活性化し、自立した活動ができることをめざす。 			役割分担	市民の役割 ・消費生活に関する正しい知識を養い、消費者被害の未然防止に努める。 ・事業者は、商品表示の適正化に努める。 ・消費者団体は、消費者の安全と消費生活の改善、向上を図るための活動に努める。	
施策に関する個別計画						行政の役割

区分	指標名 (上段)		単位	設定時の値	実績値① (年度)	実績値② (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)							
①	消費生活センター相談解決の割合		%	99.5	99.3	100.4	A	100.0
	増加することが良いとされる指標			H27	R2	R3		R3
②	消費生活啓発講座等実施件数（地域・学校等）		回	21	28	34	A	30
	増加することが良いとされる指標			H27	R2	R3		R3

評価方法			評価点
評価軸① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。		合計点は 8点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数 4点
評価軸② 施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 (100%以上の達成度) <input type="checkbox"/> おおむね順調 (80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない (50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない (50%未満の達成度)	消費生活相談は迅速かつ適正に処理することで、トラブルの解決に至っている。消費生活啓発講座については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた講座を中止せざるを得なかったが、啓発品配布や広報掲載により啓発を図った。	4点
評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	消費生活相談は、解決に至っていることから相談者のニーズに応えている。消費生活啓発講座については、参加申込の多かったキッズ消費者教室の回数を増やし、参加枠を広げた。	4点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	消費者被害の拡大防止のための消費生活相談、未然防止のための消費生活啓発講座の開催により、目的を達成するための事業としては十分な内容である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
施策に関する現状と課題 消費生活相談は、消費生活相談員のスキルアップを図ることにより、法令改正や最新のトラブルの把握に努め、迅速かつ適正に解決を図っている。消費生活啓発講座の実施は、新型コロナウイルス感染症の影響により老人福祉センター啓発や自治会等への出前講座が計画通りに実施できなかったが、今後も講座開催と合わせて、効果的な啓発手段を検討していく必要がある。			総合評価 4点 評価軸①~④の評価点の平均点



	貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
				成果指標名	単位	R3目標値	R3実績値	
構 成 す る 事 務 事 業	1	602204	消費者相談事業	1 解決件数	件	290	249	現状のまま継続
	2	602205	消費者教育啓発事業	2 消費生活センターの相談件数	件	290	248	現状のまま継続
	3	602206	消費者活動支援事業	1 会員数	人	110	102	現状のまま継続
	4	602207	商品表示適正化事務事業	1 違反件数	点	0	0	現状のまま継続

特記事項

指標①「消費生活センター相談解決の割合」は、年度内に相談が解決した割合。前年度繰越事案を含む場合、実績値は100%を超える。
令和2年度 相談受付件数：270件、解決件数：268件（令和3年度への繰越2件）
令和3年度 相談受付件数：248件、解決件数：249件（令和4年度への繰越1件）

今後の展開

消費生活センターにおいて、専門の消費生活相談員による相談対応により、迅速及び的確にトラブルの解決につなげていく。
消費生活に関する知識や対策について、出前講座や広報等により啓発を行い、消費生活センターの周知と消費者被害の未然防止を図る。